

千葉市

サステナビリティファイナンス・フレームワーク



令和 6 年 7 月

千 葉 市

## 千葉市サステナビリティファイナンス・フレームワーク

### 1 はじめに

#### (1) 千葉市の概要

千葉市は千葉県のほぼ中央部に位置し、西は習志野市、北は八千代市・佐倉市・四街道市、東は八街市・東金市・大網白里市、南は茂原市・市原市に接しています。市内にはJR京葉線・JR総武線・京成線の鉄道が通っており、2023年3月にはJR京葉線の幕張豊砂駅が開業しました。

また、東京湾に面しており、国内最大級の貨物取扱量を誇る国際拠点港湾である千葉港を有しています。さらに、日本の空の玄関成田国際空港と羽田空港のほぼ中間に位置し、両空港や首都東京へは約30分圏内と、交通アクセスに優れ、県都として、また、首都機能の一翼を担う大都市として発展する、豊かな緑と水辺の自然環境に恵まれた都市です。

#### (2) 千葉市のSDGsに関する取組方針

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。SDGsは全ての国が取り組むべき普遍的な目標ですが、これらの目標は各国政府による行動だけでは達成が困難です。企業や地方自治体、学術団体や市民社会、一人ひとりに至るまで、あらゆる主体による行動が求められている点が大きな特徴です。

千葉市では、2023年4月に「千葉市基本計画」をスタートさせました。2040年頃、我が国の人口構造は人口減少が深刻化し、高齢者人口がピークを迎え、また、人口増加期に集中的に整備してきた公共施設・インフラの老朽化に伴い更新需要が高まるなど、様々な課題が生じることが想定されています。さらに、人口・都市機能の集中する大都市を中心に、暮らしや働き方など社会経済活動の様々な場面において、新しい技術を活用した社会変化に即応できるまちづくりが求められています。

千葉市基本計画では、このような顕在化してくる諸課題に対応し、官民連携のもと、将来にわたり持続可能な都市経営を図るため、計画期間のさらに先まで見据えつつ、10年後に実現したい姿を描くとともに、2040年頃を展望した社会変化、将来リスク、SDGsの「誰一人取り残さない」といった視点等を踏まえ、この10年間に重点的に推進する政策及び分野目標を定めています。

#### (3) 千葉市SDGs債について

千葉市は今般、サステナビリティファイナンス・フレームワーク（以下「本フレームワーク」）を策定しました。本フレームワークに基づき、以下の債券を発行できるものとし、これらを総称して「千葉市SDGs債」とします。

|             |  |
|-------------|--|
| グリーンボンド     | 適格グリーンプロジェクト、適格グリーン／ブループロジェクトに係る支出に充当する債券                |
| ブルーボンド      | 適格グリーン／ブループロジェクトに係る支出に充当する債券                             |
| ソーシャルボンド    | 適格ソーシャルプロジェクトに係る支出に充当する債券                                |
| サステナビリティボンド | 適格グリーンプロジェクト、適格グリーン／ブループロジェクト及び適格ソーシャルプロジェクトに係る支出に充当する債券 |

## 2 サステナビリティファイナンス・フレームワーク

本フレームワークは、以下の原則等との適合性に対するオピニオンを株式会社日本格付研究所より取得しています。

| 原則等の作成者   | 適合性確認対象原則等  |
|---|---|
| ICMA（国際資本市場協会）  | グリーンボンド原則 2021  |
|   | ソーシャルボンド原則 2023   |
|   | サステナビリティボンドガイドライン 2021  |
| 環境省   | グリーンボンドガイドライン 2022 年版   |
| 金融庁   | ソーシャルボンドガイドライン（2021 年 10 月）   |
| IFC（国際金融公社）   | Guidelines for Blue Finance（2022 年 1 月）（ブルーファイナンスガイドライン）                                      |
| ICMA/IFC/UNEP FI（国連環境計画・金融イニシアティブ）/UN Global Compact（国連グローバルコンパクト）/ADB（アジア開発銀行） | A Practitioner's Guide for Bonds to Finance the Sustainable Blue Economy（2023 年 9 月）（SBE ガイド） |

### （1）調達資金の使途

ICMA の「グリーンボンド原則 2021」、「ソーシャルボンド原則 2023」における事業区分のうち、別表に掲げるものを本市の「適格グリーンプロジェクト分類」又は「適格ソーシャルプロジェクト分類」とし、千葉市 SDGs 債の発行により調達した資金は、該当するプロジェクト分類に係る新規事業資金及び借換資金に充当します（借換資金に充当する場合は、発行から遡って過去 6 年度以内に実施した支出に限る。）。

なお、「適格グリーンプロジェクト分類」におけるプロジェクトのうち、IFC による「Guidelines for Blue Finance（2022 年 1 月）（ブルーファイナンスガイドライン）」、ICMA/IFC/UNEP FI/UN Global Compact/ADB による「A Practitioner's Guide for Bonds to Finance the Sustainable Blue Economy（2023 年 9 月）（SBE ガイド）」の要件も充足するものについては、「適格グリーン／ブループロジェクト分類」とし、これに係る資金調達については、ブルーボンドと位置付けます。

なお、それぞれのプロジェクト分類における適格プロジェクト例については、別表のとおりです。

### （2）対象事業の評価・選定プロセス

千葉市 SDGs 債の発行により調達した資金を充当するプロジェクトについては、本市の財政局財政部資金課が各部局にヒアリングを実施し、環境面及び社会面において便益が見込まれる事業を抽出して適格性の検討を行うとともに、当該プロジェクトによるリスクを特定し、その対処法についても確認したうえで選定します。

なお、当該プロジェクトは、地方自治法及び関係諸法令に基づき、必要な市議会での審議を経て議決され、予算として計上されます。

### （3）調達資金の管理

地方自治法第 208 条（会計年度独立の原則）に基づき、地方公共団体における各会計年度における歳出は、その年度の歳入をもってこれに充てられます。千葉市 SDGs 債の発行により調達した資金もこれに則り、原則として当該年度中に適格プロジェクトに充当されます。財政局財政部資金課と各事業

課が連携して充当状況の把握を行い、千葉市 SDGs 債による調達額が適格プロジェクトに係る資金充当の合計額を超過しないよう適切に管理します。

千葉市 SDGs 債の発行により調達した資金の適格プロジェクトへの充当については、本市の会計制度に基づいた歳入予算の経理区分で分類するとともに、帳簿上に資金使途と支出額を明確に示します。なお、未充当資金が発生した場合には、充当されるまでの間、本市の規定に基づき、現金又は安全性の高い金融資産で運用します。

会計年度の終了時には、適格プロジェクトを含む本市の全ての歳入と歳出について執行結果と決算関係書類が作成され、市の監査委員による監査を受けます。その後、決算関係書類は監査委員の意見を付して市議会に提出され、承認されることになります。

#### (4) 資金充当状況レポート

適格プロジェクト名、充当金額、調達資金のうち借換資金に充当された部分の概算額（又は割合）については、本市ウェブサイトにおいて、発行の翌年度に開示します。

なお、調達資金の充当計画に大きな状況の変化が生じた場合には、速やかに開示します。

#### (5) インパクトレポート

プロジェクトの実施による環境・社会的課題の解決に関する環境改善効果や社会的成果を記載するレポートについて、本市のウェブサイトにおいて、別表に掲げる指標について、実務上可能な範囲内で発行の翌年度に開示します。

なお、プロジェクトに関し、当初想定から大きな状況の変化が生じた場合には、速やかに開示します。

### 3 改訂履歴

| 年月     | 内容   |
|--------|--|
| 令和5年6月 | <ul style="list-style-type: none"><li>初版</li></ul>   |
| 令和6年7月 | <ul style="list-style-type: none"><li>適合性確認対象原則等の追加・更新</li><li>別表の適格グリーン・ソーシャルプロジェクト例等の追加・更新</li></ul> |

別 表

## 【適格グリーンプロジェクト】

| グリーンボンド原則プロジェクトカテゴリーと環境目標            | 適格プロジェクト例   | 貢献するSDGs* | レポートィング指標例   |
|--------------------------------------|---|-----------|--|
| エネルギー効率<br>環境目標：気候変動の緩和              | 高効率機器（LED等）の導入  | 7, 13     | 整備内容、整備箇所数<br>エネルギー削減量（kWh）<br>CO <sub>2</sub> 排出削減量（t-CO <sub>2</sub> ） |
| 再生可能エネルギー<br>環境目標：気候変動の緩和            | 再生可能エネルギー設備導入   | 7, 13     | 整備内容、整備箇所数<br>発電量（kWh）   |
| 再生可能エネルギー<br>エネルギー効率<br>環境目標：気候変動の緩和 | スマート農業実証用ハウス整備  | 7, 13     | 整備内容、整備箇所数<br>エネルギー削減量（kWh）<br>CO <sub>2</sub> 排出削減量（t-CO <sub>2</sub> ） |
| クリーン輸送<br>環境目標：気候変動の緩和               | 公用車への電動車の導入   | 13        | 導入数<br>CO <sub>2</sub> 排出削減量（t-CO <sub>2</sub> ）                         |
|                                      | 鉄道・モノレール関連施設・設備整備、<br>電動車関連設備整備   |           | 整備内容、整備箇所数<br>CO <sub>2</sub> 排出削減量（t-CO <sub>2</sub> ）                  |
|                                      | 自転車走行環境の整備  |           | 整備内容、整備距離（m）   |
| グリーンビルディング<br>環境目標：気候変動の緩和           | 市有施設の新築・改修<br>- 以下のいずれかの建物認証又は所在自治体による環境性能に関する確認（※）を取得若しくは将来取得若しくは、更新予定の建物の建設又は内装・設備の工事若しくは更新にかかる費用。なお、有効期限のある認証については有効期限内である建物とする。CASBEE建築におけるSランク、Aランク、B+ランク/BELS（非住宅）（令和6年度基準）におけるレベル4以上/BELS（平成28年度基準）における3つ星以上/DBJ Green Building認証における3つ星以上/LEED-BD+C（Building Design and Construction）（v4.0以降）又はLEED-O+M（Building Operations and Maintenance）（v4.0 | 7, 13     | 認証取得状況<br>認証ランク<br>CO <sub>2</sub> 排出削減量（t-CO <sub>2</sub> ）             |

|                                       |   |        |   |
|---------------------------------------|---|--------|---|
|                                       | 以降) における Platinum, Gold, Silver/BREEAM In-Use 又は BREEAM New Construction (v6 以降) における Outstanding, Excellent, Very good/ZEB (Nearly, Ready, Oriented を含む)<br>※自治体版 CASBEE においては、 ルックバック期間を工事完了日から 3年とする |        |   |
| 汚染の防止と管理<br><br>環境目標：汚染の防止と管理         | リサイクルセンター整備、衛生センター計装設備更新、汚水処理場整備、大気汚染自動測定機の整備、農政センター 土壤分析局所排気装置更新、有機農業栽培実証実験パイプライン設置、環境保健研究所整備  | 6, 11  | 整備内容、整備箇所数                                    |
|                                       | 下田最終処分場浸出水処理施設建替施設の整備   | 6, 11  | 整備内容、浸出水処理能力 (m <sup>3</sup> /日、計画値)          |
|                                       | エネルギー回収型廃棄物処理施設の新設・整備   | 11, 12 | 整備内容 (新設の場合、運用開始時期)、エネルギー回収率、発電 (見込み) 量 (kWh) |
| 持続可能な水資源及び廃水管理<br><br>環境目標：自然資源の保全    | 上水関連施設整備  | 6, 11  | 整備内容、整備箇所数、整備によって恩恵を受ける世帯数                    |
| 気候変動への適応<br><br>環境目標：気候変動への適応         | 河川の管理・改修、急傾斜地崩壊対策、排水施設整備、道路の透水性舗装、流域貯留施設整備  | 11, 13 | 整備内容、整備箇所数・面積、想定される被害とその被害を避けることができる家屋数・面積等   |
| 自然資源・土地利用の持続可能な管理<br><br>環境目標：自然資源の保全 | 緑地保全  | 11, 15 | 整備内容、整備面積                                     |

【適格グリーン／ブループロジェクト】

| グリーンボンド原則プロジェクトカテゴリー／ブルーファイナンスガイドライン分野 | 適格プロジェクト例   | 貢献するSDGs※ | レポーティング指標例 |
|--|---|-----------|------------|
| 汚染の防止と管理／水衛生                           | 下水道施設・設備整備、処理場やポンプ場の整備、浄化センター設備整備、農業集落排水事業、排水施設整備 | 6, 11     | 整備内容、整備箇所数 |
| 汚染の防止と管理／海洋に負荷の少ない化学・プラスチック事業          | 農政センター土壌分析局所排気装置更新                                | 6, 14     | 整備内容、整備箇所数 |

【適格ソーシャルプロジェクト】

| ソーシャルボンド原則プロジェクトカテゴリー | 適格プロジェクト例と対象   | 貢献するSDGs※ | レポーティング指標例  |
|-----------------------|--|-----------|---|
| 手ごろな価格の基本的インフラ設備      | 防災・災害対策（避難所整備、防災無線整備、インフラ耐震化・老朽化対策、狭隘道路拡幅整備、緊急輸送道路施設・設備整備、電線類の地中化、防災公園整備）<br>対象：自然災害の罹災者 | 11        | 【アウトプット】整備内容<br>【アウトカム】整備箇所数、避難（可能）者数<br>【インパクト】防災対策の推進             |
|                       | 市有施設のバリアフリー化<br>対象：障がい者、高齢者を中心とする施設の利用者  | 11        | 【アウトプット】整備内容<br>【アウトカム】整備箇所数<br>【インパクト】持続可能なまちづくり                   |
|                       | 交通施設の安全性向上のための整備<br>対象：子ども、障がい者、高齢者等   | 10        | 【アウトプット】整備内容<br>【アウトカム】整備箇所数<br>【インパクト】交通安全の推進                      |
| 必要不可欠なサービスへのアクセス      | 障がい者福祉施設整備<br>対象：障がい者  | 3, 10, 11 | 【アウトプット】整備内容<br>【アウトカム】整備箇所数、定員数<br>【インパクト】子ども・高齢者・障害のある人にやさしいまちづくり |
|                       | 老人福祉施設整備（含む助成）<br>対象：高齢者   | 3, 10     |   |

|           |  |       |   |
|-----------|--|-------|---|
|           | 消防関連施設・設備の整備<br>対象：被災者や緊急救助が必要な人                   | 3, 11 | 【アウトプット】整備内容<br>【アウトカム】整備箇所数、年間の消防出動件数（千葉市全体）<br>【インパクト】防災対策の推進 |
|           | 学童保育施設整備、児童福祉施設整備（含む助成）、保育施設整備<br>対象：子どもや子育て世代     | 11    | 【アウトプット】整備内容<br>【アウトカム】整備箇所数、定員数<br>【インパクト】子育て支援の充実             |
|           | 学校・教育施設整備<br>対象：学校へ通う児童・生徒                         | 4     | 【アウトプット】整備内容<br>【アウトカム】整備箇所数、整備対象学校名<br>【インパクト】学校教育の振興          |
|           | 病院施設整備<br>対象：利用者・患者                                | 3, 11 | 【アウトプット】整備内容<br>【アウトカム】（見込含む）利用者数、病床数<br>【インパクト】持続可能なまちづくり      |
|           | 社会経済的向上とエンパワーメント<br>農業生産振興施設整備<br>対象：千葉市内の野菜・花き生産者 | 8     | 【アウトプット】事業内容<br>【アウトカム】整備箇所数<br>【インパクト】安定した農業経営体の育成             |
| 手ごろな価格の住宅 | 公営住宅の整備<br>対象：公営住宅を必要とする人々                         | 3, 11 | 【アウトプット】整備内容<br>【アウトカム】整備戸数、入居世帯数<br>【インパクト】住環境・生活基盤の充実         |

※ 各番号は以下の SDGs（持続可能な開発目標）を示す。

- 3. すべての人に健康と福祉を
- 4. 質の高い教育をみんなに
- 6. 安全な水とトイレを世界中に
- 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8. 働きがいも経済成長も
- 10. 人や国の不平等をなくそう
- 11. 住み続けられるまちづくりを
- 12. つくる責任、つかう責任
- 13. 気候変動に具体的な対策を
- 14. 海の豊かさを守ろう
- 15. 陸の豊かさも守ろう